

第2510地区 第11グループ

函館東ロータリークラブ

素敵なロータリーライフとともに

2013～2014年度 会長 池垣 信一



2013～2014 会報

第2758回
6月10日(火)

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30～13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/池垣信一 ●副会長/松山茂 ●会長エレクト/五十嵐稔
- 幹事/五十嵐正 ●副幹事/國谷大輔
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

本日のプログラム

「会長他理事・役員・委員長退任挨拶」

次週のプログラム 6月17日(火)

「会長他委員長退任挨拶」

第2757回例会 2014年6月3日(火)天候 晴

月間テーマ 親睦活動月間

■ロータリーソング 奉仕の理想

■司会 池垣 信一 会長

■ゲスト

北海道坂本龍馬記念館 館長 三輪 貞治 氏

■今月の誕生日

3日 長谷川会員、30日 安田真也会員

■今月の結婚日

8日 宮崎裕之会員、9日 五十嵐稔会員

■会長報告

6月1日西桔梗グラウンドの植樹活動を行い無事終了致しました。ご協力ありがとうございました。

■委員会報告

社会奉仕委員会：西桔梗グラウンドの植樹事業たくさんのご参加ありがとうございました。

■幹事報告

例会終了後、例会場にて理事会を開催致します。

「坂本龍馬と函館・幕末の足跡」

北海道坂本龍馬記念館 館長 三輪 貞治 氏

■坂本龍馬(さかもと・りょうま)

天保6年(1835)11月15日～慶応3年(1867)11月15日

幕末の日本の政治家・実業家。土佐藩(現高知県)脱藩後、貿易会社と政治組織を兼ねた「亀山社中」や「海援隊」を結成するとともに、「薩長同盟」の仲介、「船中八策」の起草、「大政奉還」の成立等で活躍し、内戦を避けて日本の近代化を進めるために偉大な功績を残しました。

また、ユーモア溢れる多くの手紙を書いたり、日本で初めて新婚旅行を行うなど、その温かい人柄によって、国民的人気を誇っています。

坂本龍馬は、北海道開拓を目指して行動していましたが、残念ながらその夢は叶いませんでした。しかし、後に坂本家子孫の人々が龍馬の意志をうけつぎ、北海道に移住しています。

龍馬を描いた作品としては、司馬遼太郎の小説『竜馬がゆく』や、アニメ『お〜い竜馬!』などが有名で、2010年のNHK大河ドラマ『竜馬伝』も大変話題になりました。

Q. 龍馬が蝦夷地(北海道)開拓を目指した理由は?

A. 龍馬が慶応3年(1867)に書いた手紙には、“私は北海道に渡り、新しい国をつくるのが積年の思いであり、たとえ一人でもやり遂げるつもりです”という決意を記した一節があります。

このように、龍馬にとって北海道開拓は悲願ともいえるもので、勝海舟の弟子となった直後から亡くなるまで取り組み続けていました。

その目的は、京都に集まっていた過激浪士たちや、大政奉還後に職を失うであろう若い武士たちの暴発を防ぎ、その大切な命とエネルギーを北海道の開拓と防衛に当たらせようという壮大なもので、いわば屯田兵制度の原型といえるものでした。

Q. 函館と龍馬の関係は?

A. 龍馬の片腕として活躍し、後に養子となった甥の坂本直(幼名は高松太郎/箱館在住時の名は小野淳輔)は、慶応4年、五稜郭に置かれた箱館裁判所(後の箱館府/箱館奉行所の建物)の役人として赴任し、箱館戦争にも従軍しています。龍馬の後継者である直がその第一歩を記した場所が箱館(現函館)だったのです。

また、龍馬の縁戚にあたる澤辺琢磨も箱館に渡っています。山上大神宮や函館ハリストス正教会などに足跡を残し、日本人として初めてロシア正教の洗礼を受け、後に司祭にもなりました。

函館はペリー来航や箱館戦争など、北海道において幕末維新の歴史を持つ唯一の土地です。もし龍馬が暗殺されなければ、当時の箱館に渡っていたことは間違いないでしょう。

Q. 北海道に坂本家を移したのは誰?

A. 明治31年(1898)、直の弟である坂本直寛(郷土坂本家5代)が家族共々北海道に移住し、以来、坂本家は本道に根を下ろして現在に至っています。



